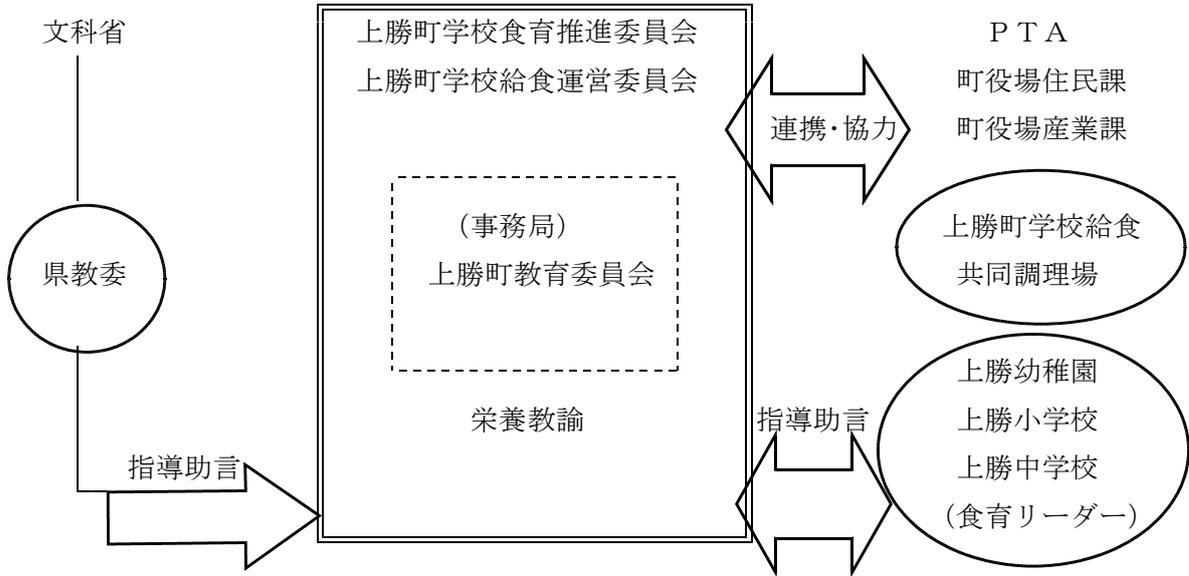


再委託先	上勝町
------	-----

1. 事業推進の体制



1. 具体的取組等について

テーマ1	食育推進体制の整備 学校給食推進体制の整備
<p>(1) 上勝町における食育推進委員会の開催</p> <p>第1回食育推進委員会・・・平成22年4月16日 協議内容・・・・・・・・平成22年度食育推進事業計画の検討</p> <p>第2回食育推進委員会・・・平成23年2月16日 協議内容・・・・・・・・平成22年度幼・小・中学校食育推進取組の報告会</p> <p>— 構成員 —</p> <p>上勝町教育長・上勝幼稚園長・上勝小学校長・上勝中学校長・上勝診療所長 保健師・歯科衛生士・小中学校養護教諭・栄養教諭・給食主任・各校食育リーダー</p>	
<p>(2) 上勝町学校給食運営委員会の開催</p> <p>平成22年度上勝町学校給食運営委員会・・・平成22年7月</p> <p>— 構成員 —</p> <p>上勝町議会議長・議会総務委員長・副町長・教育委員長・教育長・事務局長 小中(園)学校長・小中(園)PTA会長・栄養教諭</p>	

協議内容・・・① 21 年度給食事業・会計報告等

②施設、設備の充実について

(3) 食育リーダー研修会及び給食主任会の開催・・・各学期に 1 回

協議内容・・・① 22 年度食育推進の具体案検討

②取組の中間報告と進行状態の確認

③取組のまとめ

(4) 校内食育委員会及び研修・・・校内研修時に学期毎各 1 回

テーマ2 幼・小・中を通じた食に関する指導の充実

(1) 上勝幼稚園における食に関する指導の取組

就学前から食に興味を持たせ、生涯に渡って望ましい食習慣を形成するために、食べ物に興味をもち、小学校での給食及び食に関する指導が円滑に行えるように指導をすすめた。



カレーをつくろうよ



園長先生といっしょに
いただきま〜す



トマトがとれたよ

(2) 上勝小学校における食に関する指導の取組

小学校での効果的な指導のあり方について工夫・改善を図ることを目標に、食に関する年間指導計画による継続的、体系的な指導の実践を行った。

① 教科等における指導の一例

学 年	教 科	主 題
1 学年	生 活 科	さつまいも蒸しパンを作ろう
1 学年	生 活 科	調理員さんのお手伝い
1 学年	学 活	すききらいなく食べよう
2 学年	生 活 科	さつまいも大福を作ろう
2 学年	学 活	食べ物のはたらき(食べ物王国のサミット会議)
3 学年	学 活	和のこころを学ぼう
3 学年	学 活	元気の出る食事
4 学年	学 活	おやつを選びかた
5 学年	家 庭 科	サラダを作ろう
5 学年	家 庭 科	上勝の食材を使ってみそ汁づくり
5 学年	総合的な学習の時間	棚田の恵み
6 学年	家 庭 科	～米の栄養～

テーマ3

学校給食の充実と地場産物の活用促進

- (1) 産直市（いっきゅう茶屋）の協力を得て地場産の野菜・加工品等の給食への活用を行った。
- (2) 地場産物活用状況調査実施
- (3) 各学級ごとに上勝産の米を電気炊飯器で炊飯を開始。
 - ① ごはんがおいしいと好評
 - ③ 学級ごとに米の計量をするので 調理員の手間がかかる。
 - ④電気容量が大きく光熱経費増になる。
 - ⑤炊飯の場所が広く要する。



テーマ4

学校・家庭・地域の連携による食育の推進

- (1) 親子料理教室と食育講演会・給食試食会（上勝小学校）



徳島文理大学非常勤講師
北谷周子氏を迎え「親子料理教室」



高知県南国市元教育長
西森善郎氏による講演会



給食試食会

- (2) 地域の支援を受け、1年生・2年生は生活科でさつまいもの栽培、5年生は総合的な学習



の時間で米作りを学習した。

- (3) こんにゃく作り体験
(上勝中学校)

家庭教育学級において、保護者、生徒、教職員を対象に、地元のこんにゃく作り名人を講師に迎え「手作りこんにゃく」の体験を行った。



こんにゃく作りの名人です。自分で栽培したこんにゃくいもを使い、木灰を濾過したアクを使って、おいしいこんにゃくの作り方を教えてくれました。



すいおろしたこんにゃくいもに、木灰からとったアクを混ぜ、形を整えて茹でます。
こだわりの自然食品です。

(4) 食育カレンダーの作成と家庭への配布

事業指定を受け、とり組んだ内容を地域や家庭に発信するため、23年度のカレンダーを制作し、配布した。

(5) 学校給食アイデア料理コンテスト

徳島県教育委員会主催の「学校給食アイデア料理コンテスト」に上勝小学校から22組の家族が応募し、優秀な成績をおさめた。

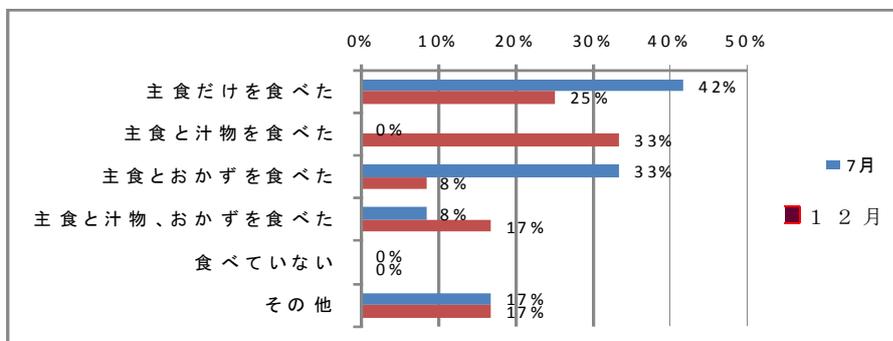


数字で変化のあった事項について

問1 今朝の朝食は何を食べましたか？

調査月：7月と12月

対象：上勝小学校児童72名



○朝食の内容について調査をおこなった結果、主食・汁物・おかずを食べたと答えた児童は、8%増加した。

事業全体を通じて、特に効果のあった方策等について

上勝町学校保健委員会を母体に、食育推進委員会を整備したことは、行政との連携をスムーズにし、構成員が共通理解をすることで食育の推進に効果があった。小学校では、主に学級活動で指導を進めることを多くし、問題解決のための指導内容にした。中学校では、卒業後自活をする生徒が多いことから、食の自己管理ができるように、体験する学習に重点をおき指導をすすめた結果、生徒は将来の食生活に効果が発揮されると考えられる。地域の協力があつて農業体験や料理教室を開催することが教室では学べないものを子どもたちは得ることができた。給食試食会や食育講演会では、保護者にあらためて食の大切さを理解していただけたと感じている。また、朝食マナーシート配布は、「食事のそろえ方だけでなく、箸のマナーなど大変参考になった」という保護者の声も寄せられた。1年間のまとめとして作成した食育カレンダーを、全家庭に配布したことは、保護者や地域の方々に食育の取り組みを理解していただくためのよき媒体になった。

今後の課題(今回の事業により新たに見えた課題など)

食に関する指導では、各学校の年間指導計画をもっと充実させ、計画にそって全教職員が共通理解の上、すすめることが大事であり課題である。

地域の食材を活用するには、産直市との情報交換を密にすることが課題として出た。また、食材の旬のカレンダーを整備せねばならないと思う。

(3) 先進地視察

- 和歌山県田辺市立三栖小学校視察（H22年6月28日）
- ・昨年度の本食育推進事業実施校における取り組みについて。
- ・事業終了後の状況について。

テーマ2 食に関する指導の充実

(1) 指導用教材の研究と作成

- 指導用教材の作成
- ・模型、紙芝居等食育教材を作成。



[おはしの持ち方]



[パズル]



[血管の模型]

- 「教材バンク」として共用
- ・作成した食育教材および手持ちの教材のカタログを作成する。
- ・カタログには、実物の写真と簡単な使用方法を記載。
- ・カタログをファイルにまとめる。
- ・カタログは、加除できる。
- ・ファイルは各学校に配布し、保管する。
- ・希望があれば所定の様式を提出し、貸し出しをおこなう。



(2) 給食センター紹介

- 給食センター見学
- 給食センター探検隊
- パワーポイントによる給食センター紹介

(3) 食育講演会の開催

- 講師を招いて食育講演会を実施（H22年8月2日）
- ・幼稚園・小学校・中学校保護者及び中学生対象。
- ・演題「バランスのよい食事ってなあに」
- ・講師 管理栄養士 藤原育代先生



テーマ3 学校給食の充実と地場産物の活用促進

(1) 学校給食献立の募集

- 「おすすめマイレシピ」の募集（9月、1月）
- ・夏休み明けと冬休み明けの2回募集した。
- ・地場産物を使った献立。
- ・「給食献立賞」の献立を給食に取り入れ、給食だよりや給食放送で周知。
- ・大賞以外の作品にも、「料理は科学だ賞」などいろいろな名称の賞で表彰。
- リクエスト献立の募集（12月）
- ・中学3年生を対象に、「卒業までにもう一度食べたい給食献立」を募集し、3学期の給食で実施。

(2) 地場産物の活用

- 生産者から購入
 - ・地元農家から直接納品してもらい使用。
- 市内農業高校との連携
 - ・生徒が栽培した野菜を使用。
- 児童が栽培した野菜を給食に使用
 - ・小学校の学校農園で収穫したブロッコリーを翌日の給食に使用。



[子どもたちが納品に]



[納品されたブロッコリー]



[カレーに使用]

- 納入業者への働きかけ
 - ・仕入先の見直し等協力を依頼

テーマ4 学校・家庭・地域の連携による食育の推進

(1) 料理教室の開催

- 幼稚園親子料理教室 (H22年7月29日)
 - ・幼稚園保護者・園児対象。
 - ・かんたん朝ごはんとおやつ。
- 林小学校PTA料理教室 (H22年9月27日)
 - ・保護者対象。
 - ・かんたん朝ごはん。
- 久勝小学校PTA料理教室 (H22年12月14日)
 - ・保護者対象。
 - ・かんたんメニューでクリスマスパーティー。



(2) 学校給食試食会の開催

- 伊沢小学校給食試食会 (H22年7月15日)
 - ・1年生保護者対象。
 - ・概要説明と朝食の重要性についての講話。
- 久勝小学校給食試食会 (H22年11月2日)
 - ・小学校保護者対象。
 - ・概要説明と朝食の重要性についての講話。
- 伊沢小学校入学説明会および給食試食会 (H23年2月9日)
 - ・新入学予定の保護者・園児。
 - ・保護者対象に学校給食に関する説明とお願い。
 - ・説明会終了後、園児もいっしょに給食試食。



(3) 「しっかり食べよう朝ごはん」の取組

- ランチョンマットの作成と配布
 - ・バランスのよい朝ごはんについて記載したランチョンマットを作成。
 - ・イラストを参考に実際の料理を乗せると、バランスのよい献立になる。
 - ・料理の並べ方も自然に覚えるよう、マナー面にも配慮している。

- ・お皿の色は、食事バランスガイドに準拠している。
- ・A3版、両面PP加工しているため、繰り返し使用できる。
- ・幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒および教職員を対象に配布。



[表面]

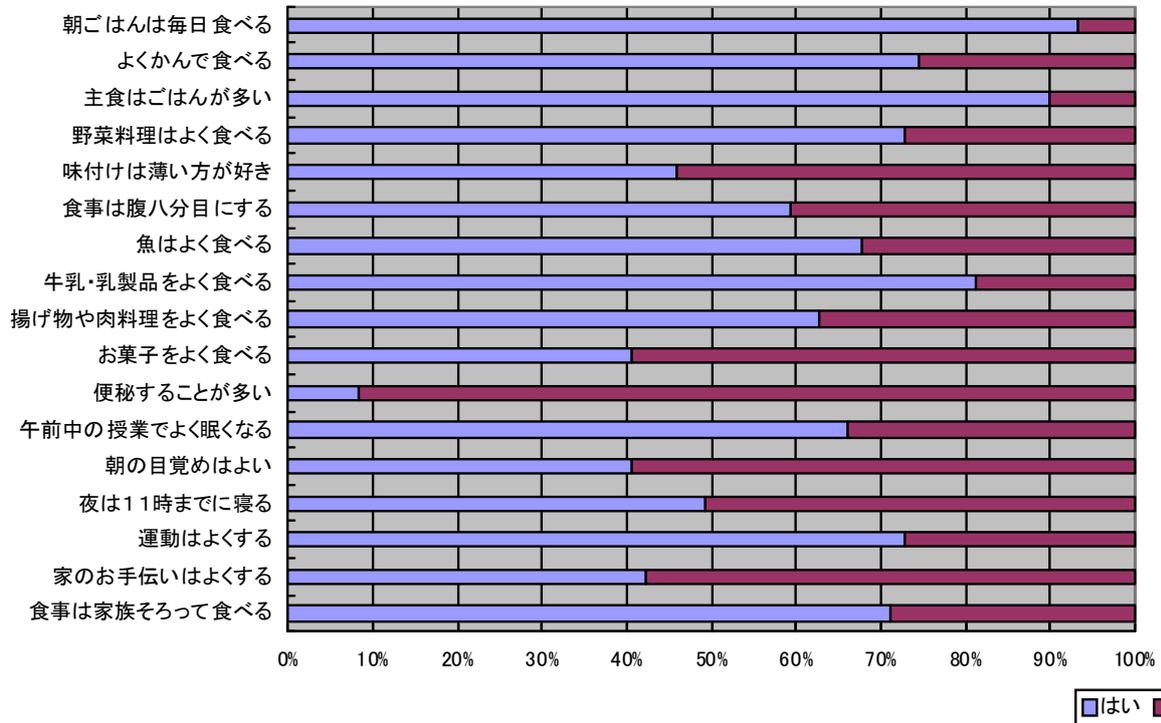


[裏面]

テーマ1～4に共通する具体的計画

(1) アンケート調査の実施

○生活習慣に関する調査



○朝食の重要性を指導

- ・料理教室、学校給食試食会、食育通信等で朝食の重要性について知らせる。

数字で変化のあった事項について

(1) 朝食を食べる割合

○7月の調査結果（21年度との比較）

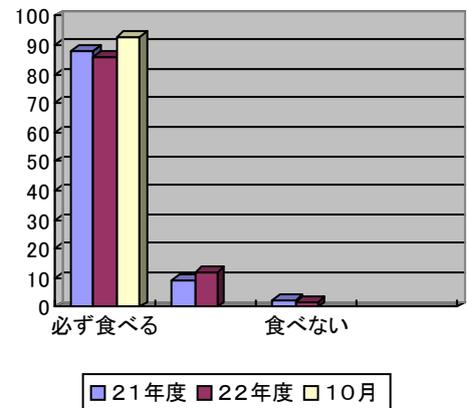
必ず食べる	88.0%	→	86.1%
時々食べない	9.5%	→	11.9%
食べない	2.5%	→	2.0%

- ・全く食べない児童生徒はわずかに改善されているが、必ず食べる児童生徒の割合が減っている。
- ・朝食の重要性についての指導を進める必要性を感じる。

○10月の調査結果〔7月との比較〕

必ず食べる	86.1%	→	93.0%
-------	-------	---	-------

- ・季節的に食欲が出る時期でもあり、必ず食べる生徒が増えている。



(2) 地場産物活用状況（21年度との比較・品目ベース）

6月の活用率	44.44%	→	64.29%
11月の活用率	38.28%	→	46.09%
1月の活用率	42.74%	→	55.81%
3ヶ月の平均	41.82%	→	55.40%

- ・活用率は増えているが、徳島県平均の、56.35%よりわずかではあるが下回っている。関係者の理解を得ながら、献立の工夫等により、さらに活用率を上げるよう勤める。

事業全体を通じて、特に効果のあった方策等について

(1) 料理教室の開催

- ・簡単レシピ、作り置きのできるおかずレシピということで開催したが、あまり手間をかけなくてもできるので家庭でも実践したいという感想だった。バランスのよい朝食作りのきっかけになればと思う。
- ・今回は予算もあり無料での開催であったが、今後、参加費を払ってでも実施してほしいとの要望がある。
- ・いっしょに作業することにより、保護者や教職員との距離が近づいた感がある。

(2) ランチョンマットの作成と配布

○保護者や児童生徒から寄せられた声

- ・明るい色調と、きれいなイラストを使っているのが好評で、朝食だけでなく夕食等でも利用している。
- ・配膳など、手伝いのきっかけにもなっている。
- ・全てのお皿を埋めるのは大変であるが、できるだけ近づけるよう努力している。
- ・食に関する話のきっかけとなった。

今後の課題(今回の事業により新たに見えた課題など)

(1) 食育の取り組み

- ・学校間、地域間での取り組みの差が大きい。
- ・阿波市内全体の食育を推進するため、学校や保護者だけでなく、地域との連携をはかりながら、継続的な取り組みをする必要がある。

(2) 地場産物の活用

- ・既存の業者の理解を得ながら、活用率をあげる工夫をする。
- ・地場産物活用についての意義を、児童生徒や地域へ伝える手立てを考える。